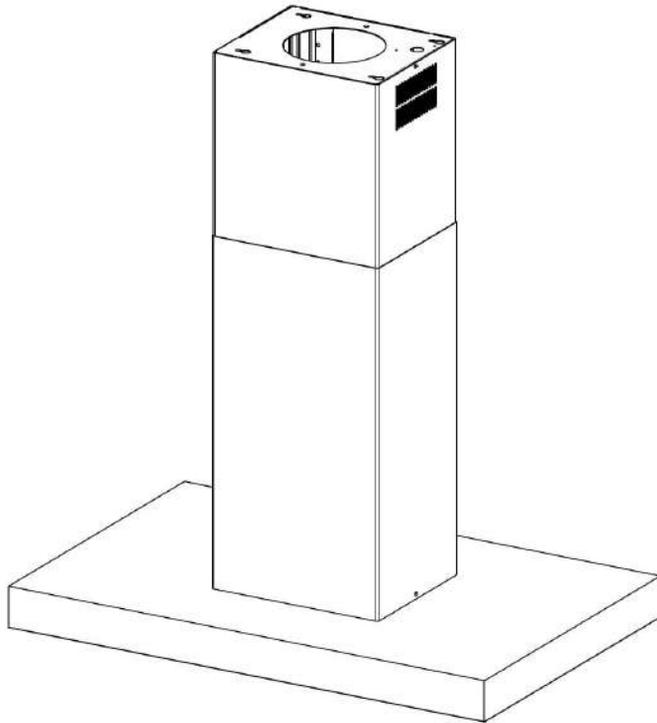


FABER S.p.A製アイランドレンジフード

BELLA ISOLA 900 / 1200

施工要領書



Index

・ 施工業者・デザイナー・設計士の皆様へ（必ずお読みください。）	2
・ 部品	3
・ 寸法図	4
・ 施工手順	5～11

施工業者・デザイナー・設計士の皆様へ（必ずお読みください。）



FABER社製品についてはすべて出荷前に検品を実施し動作に問題ないかの確認後に出荷しておりますが輸送時の衝撃等による不具合発生の可能性は排除できませんので商品受け取り時や施工前には必ず動作確認（試運転）の実施をお願いいたします。動作確認を行わずに設置後、不具合が確認された場合はあらゆる保証の対象外となることもございますのでご注意ください。

キッチンの設計にあたっては本書を熟読になり、アフターメンテナンス可能な動線の確保（フード本体の取り外しおよびフード各部位へのアクセスが可能な設計）をお願いいたします。

施工は本書の通りに行ってください。本書通りの施工がなされていないことが原因によるあらゆる製品能力の欠乏、故障、事故等については一切の責任を負いかねますので十分にご留意願います。

- 設置や廃棄に当たっては各地方自治体の条例などに従ってください。
- 施工は2人以上で行ってください。
- 電源は100V 50/60Hzの**専用回路**をご用意ください。
- コンセントには定格125V 10A以上のアース極付き(Panasonic WK30001同等品)をご用意ください。
- メンテナンスなどの作業時に感電などの事故を避けるために専用回路を設けるようにしてください。
- 必要に応じて適切な場所に点検口を設けてください。
- 本製品をメーカーの意図する目的以外で使用しないでください。
- レンジフードの排気能力を最大限発揮するために、吸気口を設けるなど気圧差を可能な限りなくす措置を講じてください。
- 補助的に別途天井換気扇の設置を推奨いたします。
- 施工にはかならず適したツールをご使用ください。
- 施工を始める前に本設電源にて動作テストを行ってください。※仮設電源では動作しない場合があります。
- 製品の仕様は事前の通告なく変更することがございます。



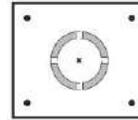
WARNING

- レンジフードは屋外排気専用です。屋内への排気はできません。
- 屋根裏部屋やその他の閉鎖空間へ排気しないでください。
- ダクト径は150mmとし、終端部まで同じ径で統一してください。
- フレキシブルタイプのダクトは推奨されません。圧力損失が生まれ、レンジフード本来の排気能力が損なわれます。
- ダクトの長さやエルボの数は効率的なパフォーマンスを提供するために最小限にしてください。
- エルボを2つ連続させる形で取り付けしないでください。
- ダクトテープを使用してダクトシステムのすべてのジョイントを目張りしてください。
- このレンジフードにはアースが必要です。
- 冷水パイプやガス管にアースしないでください。
- 接地回路にヒューズを取り付けしないでください。中性線または接地回路のヒューズは感電の原因となる可能性があります。
- レンジフードが適切に接地されているかどうか疑問がある場合は資格のある電気技師に確認してください。

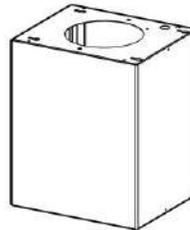
部品

下記部品がそろっていることをご確認ください。

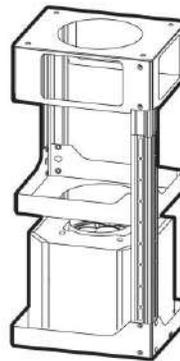
- ・フード本体 x 1
- ・アッパーチムニー x 1
- ・ローワーチムニー x 1
- ・ハンガー x 1
- ・ダンパー x 1
- ・コネクターボックス x 1
- ・天井穴あけ位置台紙 x 1
- ・ビスA (M6 x 79.0) x 4
- ・ビスB (M3 x 6.0) x 2
- ・ビスC (M3 x 9.5) x 4
- ・ビスD (M6 x 14.2) x 4
- ・ナット x 4
- ・ワッシャー x 4



天井穴あけ位置台紙 x 1



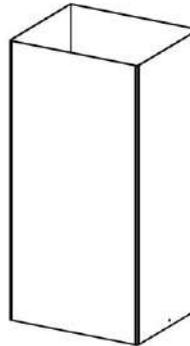
アッパーチムニー x 1



ハンガー x 2



ダンパー x 1



ローワーチムニー x 1



コネクターボックス x 1



ビスA (M6 x 79.0) x 4



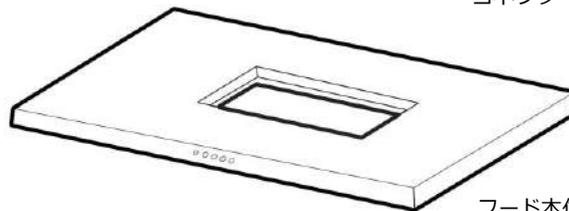
ビスB (M3 x 6.0) x 2



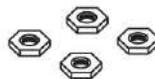
ビスC (M3 x 9.5) x 4



ビスD (M6 x 14.2) x 4



フード本体 x 1

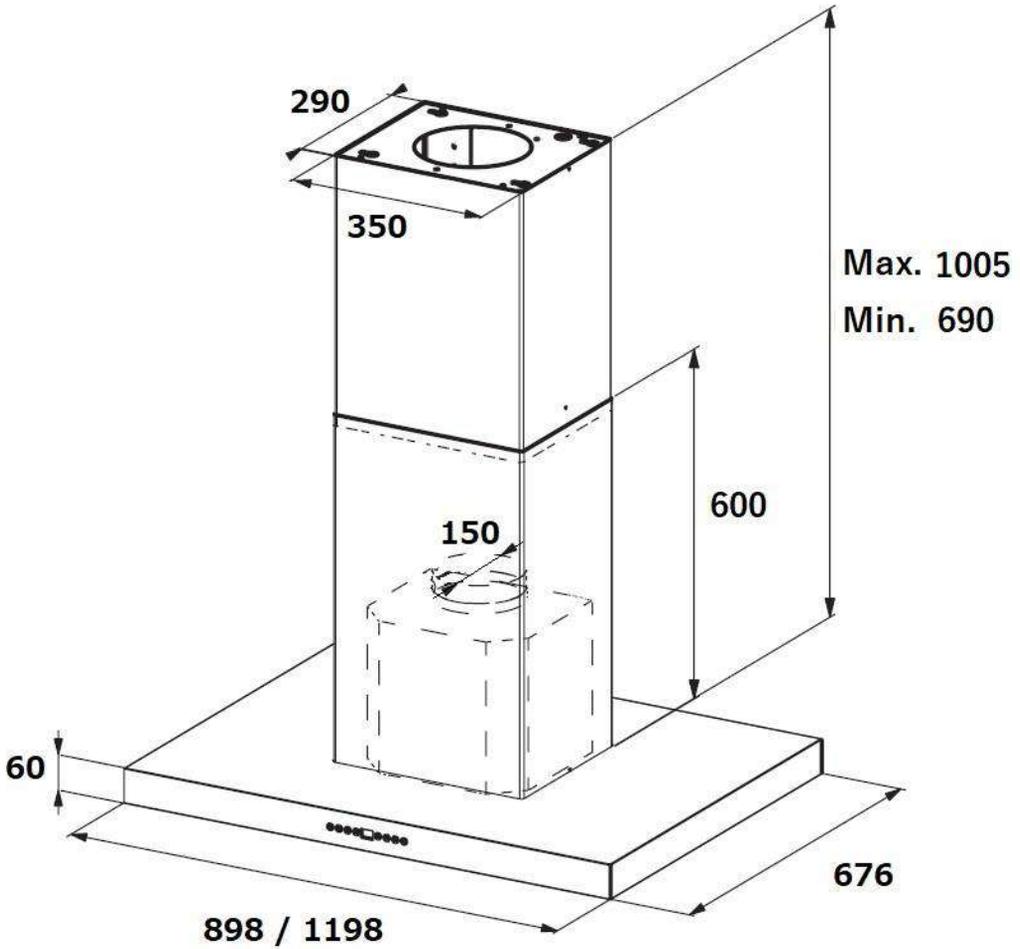
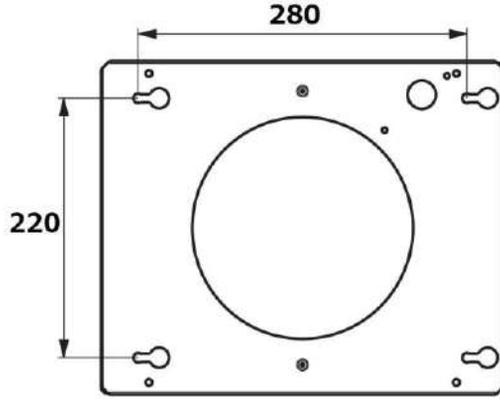


ナット (M6) x 4



ワッシャー (M6) x 4

寸法图



施工手順

①本体位置決めと各種開口・下穴施工



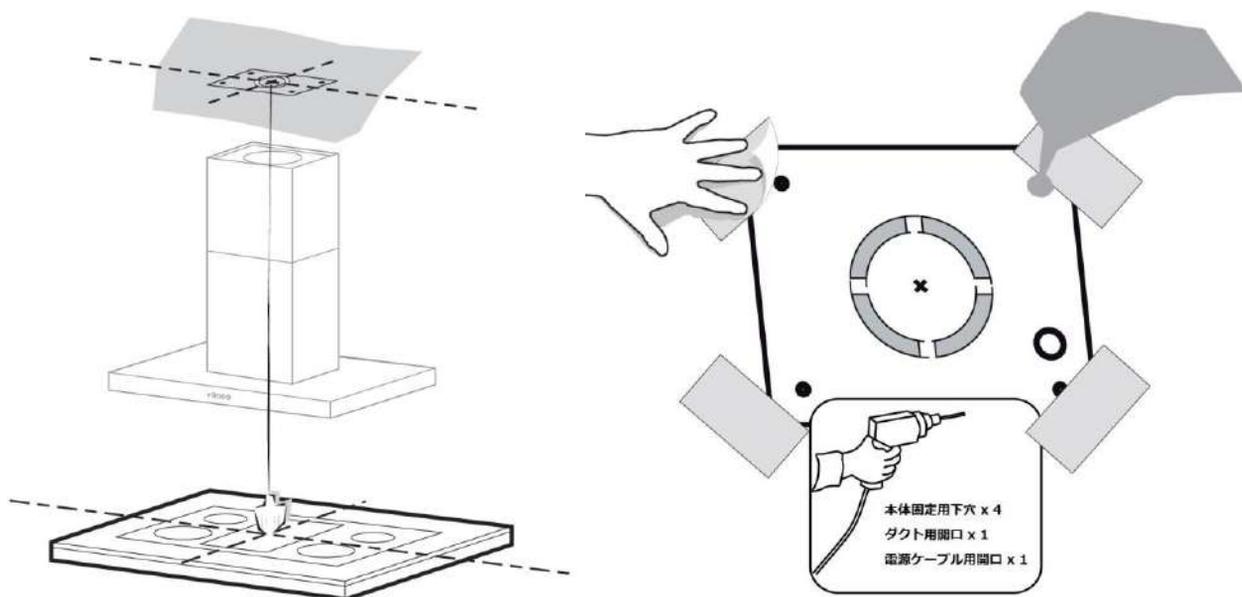
WARNING

◇取り付け部の材質や強度に応じて適切な固定具を使用してください。石膏ボード等強度のないボードには固定できません。

◇感電の恐れがございますので施工中は決してフードに通電しないでください。

◇落下物などによる破損などを防ぐため、作業中はキッチン天板、IH調理器、ガスコンロを十分に養生・保護してください。

◇メーカーは本書通りに施工が行われていないことによるいかなる事故、怪我、破損、製品能力の欠乏、不具合に対して一切の責任を負いかねます。



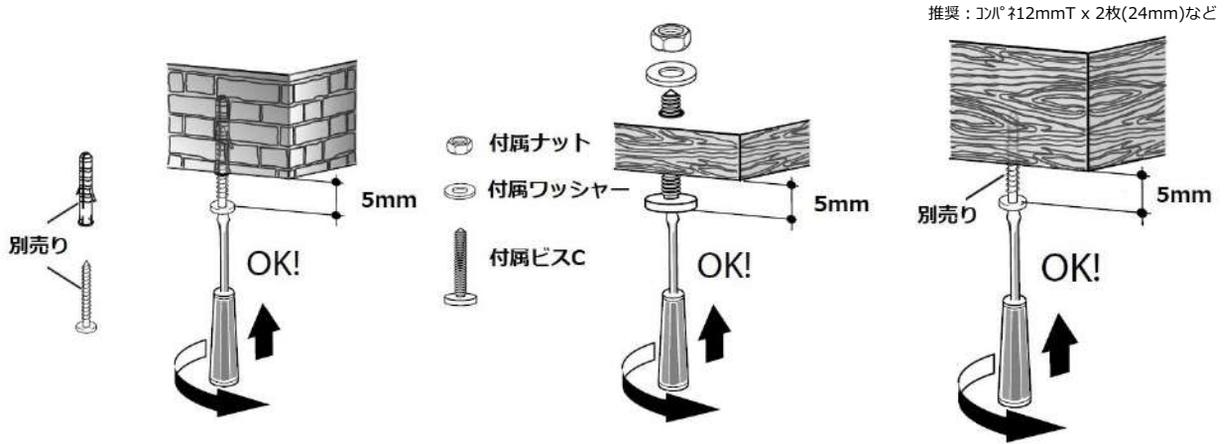
- 天井穴あけ位置台紙の中心とレンジフード設置の中心点が重なり、かつ台紙が斜めにならないように台紙を天井に張り付けてください。
- 台紙の位置にそって必要な径の下穴をあけてください。
- ダクト用穴(Φ200mm)をあけ、ダクトを通してください。
- 必ず電源ケーブル用の開口(Φ32mm以上)を設けてください。

施工手順

- 取付け部の材質や強度に従って適切なビス、ボルト、アンカー、プラグを選定してください。
- ビスやボルトを固定する位置に取り付けてください。

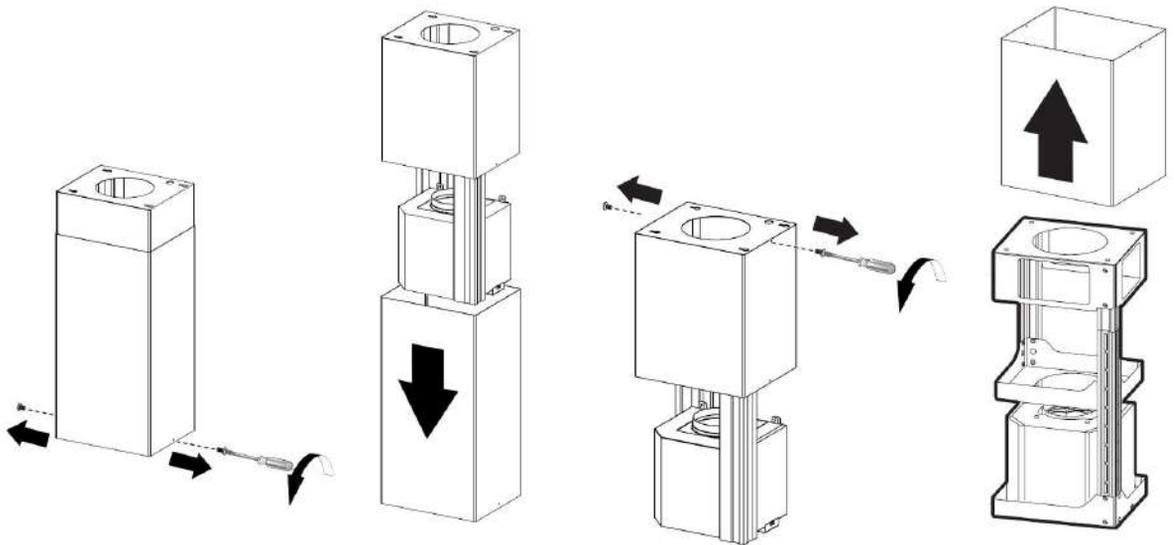
※ボルトやビスは **M6** のサイズをご用意ください。

※ボルトやビスは完全に締めこまず、必ず頭が **5mm** 程度残るようにしてください。



② チムニー取り外し

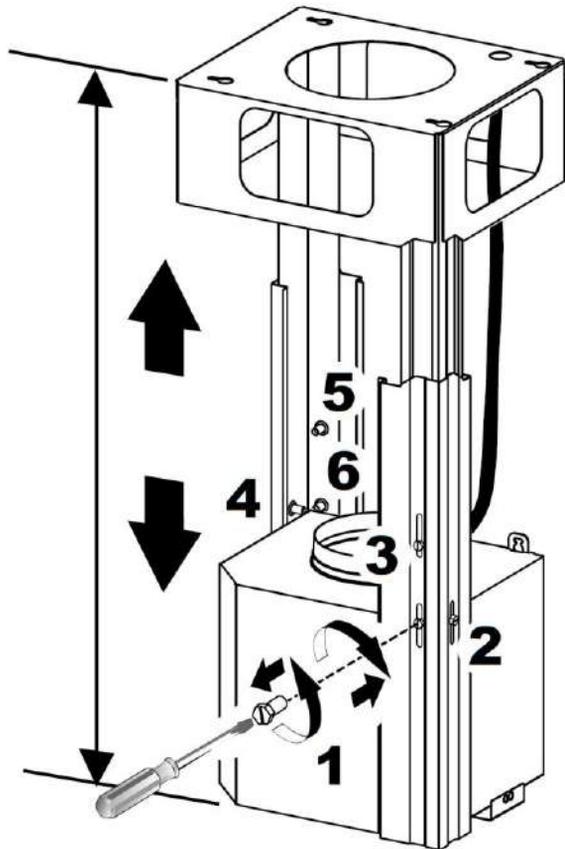
- ビスを緩め、ハンガーよりアッパーチムニーとローワーチムニーを取り外してください。



施工手順

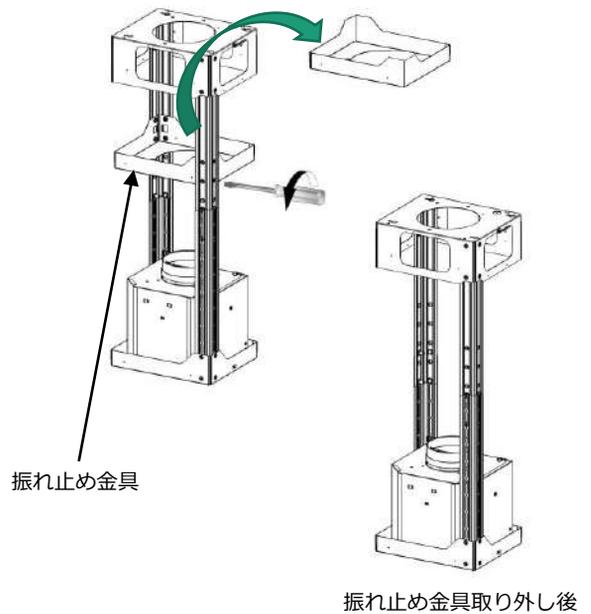
③ハンガーの高さ調整

- 図示された6つのボルト（1～6）をゆるめ任意の長さにハンガー（骨組み）を調整してください。
- 高さ調整後は6つのボルトをすべて確実に固定してください。

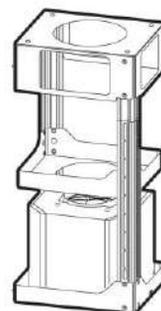
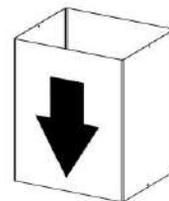


※チムニーを最小の高さ 690mm にするためには「振れ止め金具（下図参照）」を取り外す必要があります。

このとき「振れ止め金具」がなくても十分な剛性を保っていることを確認してください。



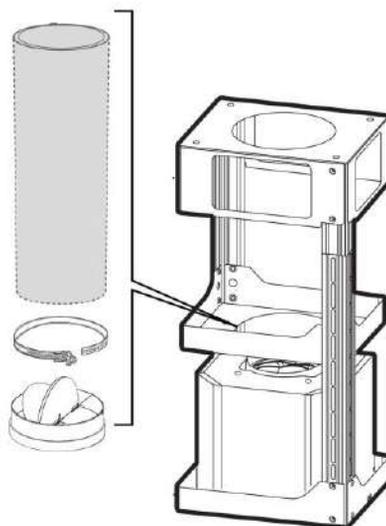
- 高さ調整後、アッパーチムニーをハンガーにかぶせておいてください。
- ※この時点ではチムニーとハンガーの固定は行わないでください。



施工手順

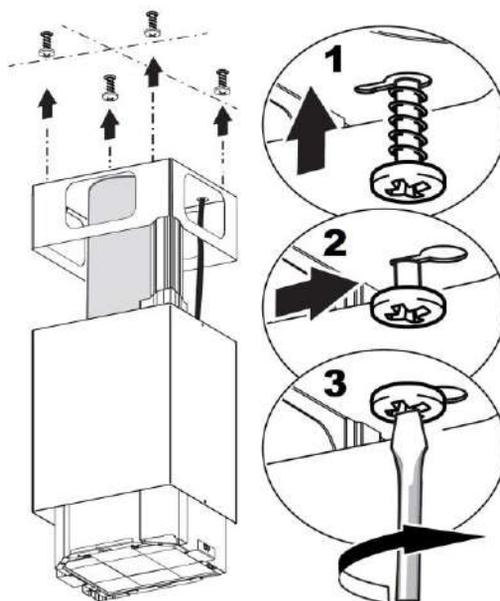
④ダンパーの取り付け

- ダクト取り付けの前にダンパー（逆止弁）をファン吐出口に取り付けてください。



⑤ハンガーの吊り込みと固定

- 電源線を施工手順1で開けた天井の穴に通してください。
- 施工手順2で取り付けしたボルトもしくはビスをダルマ穴に通し、横にスライドさせてください。
- ハンガーが正しい位置にあることを確認したのち、ボルトもしくはビスを締めこんでください。



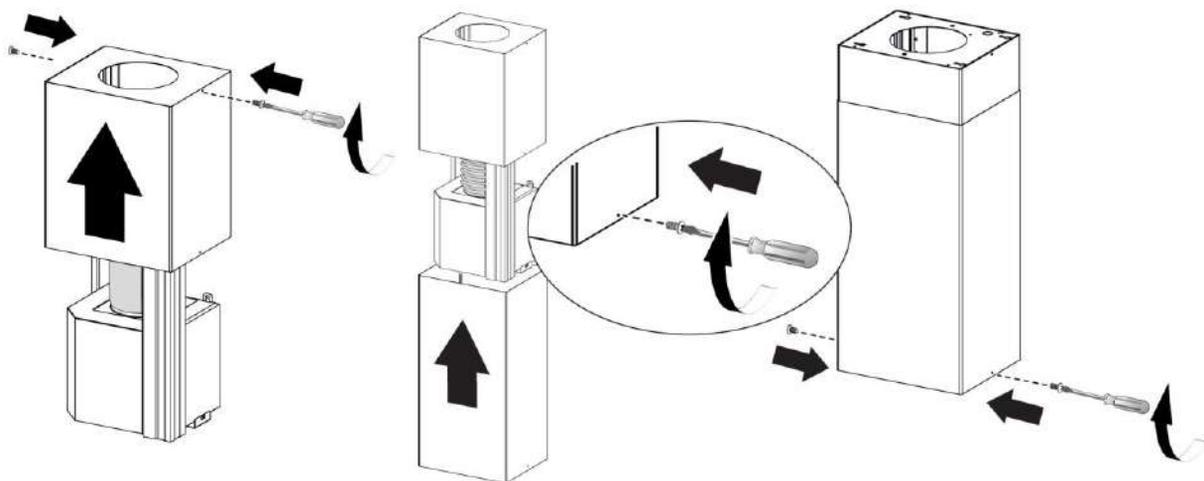
WARNING

ハンガーの天井への固定後に前後左右に動かし、剛性・強度が十分であることを確認してください。強度が十分でないとは判断された場合は適宜補強を行ってください。

施工手順

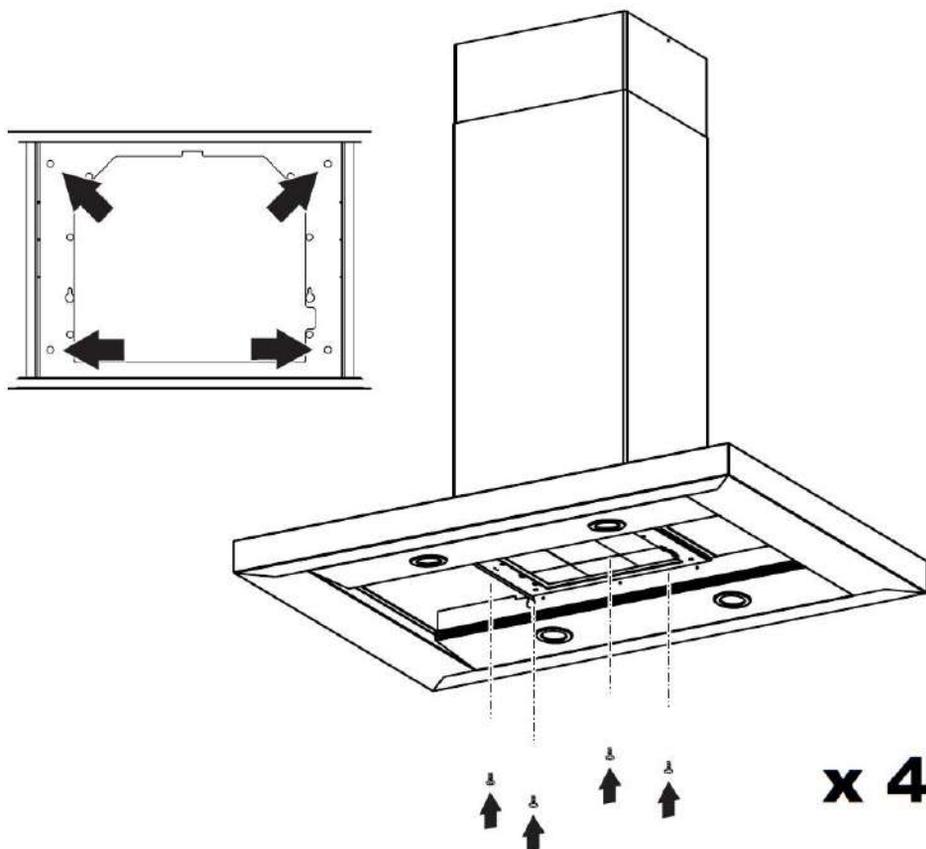
⑥ アッパーチムニーとローワーチムニーの固定

- 施工手順②で取り外したビスでアッパーチムニーとローワーチムニーの固定（ビス止め）を行ってください。



⑦ フード本体の取り付け

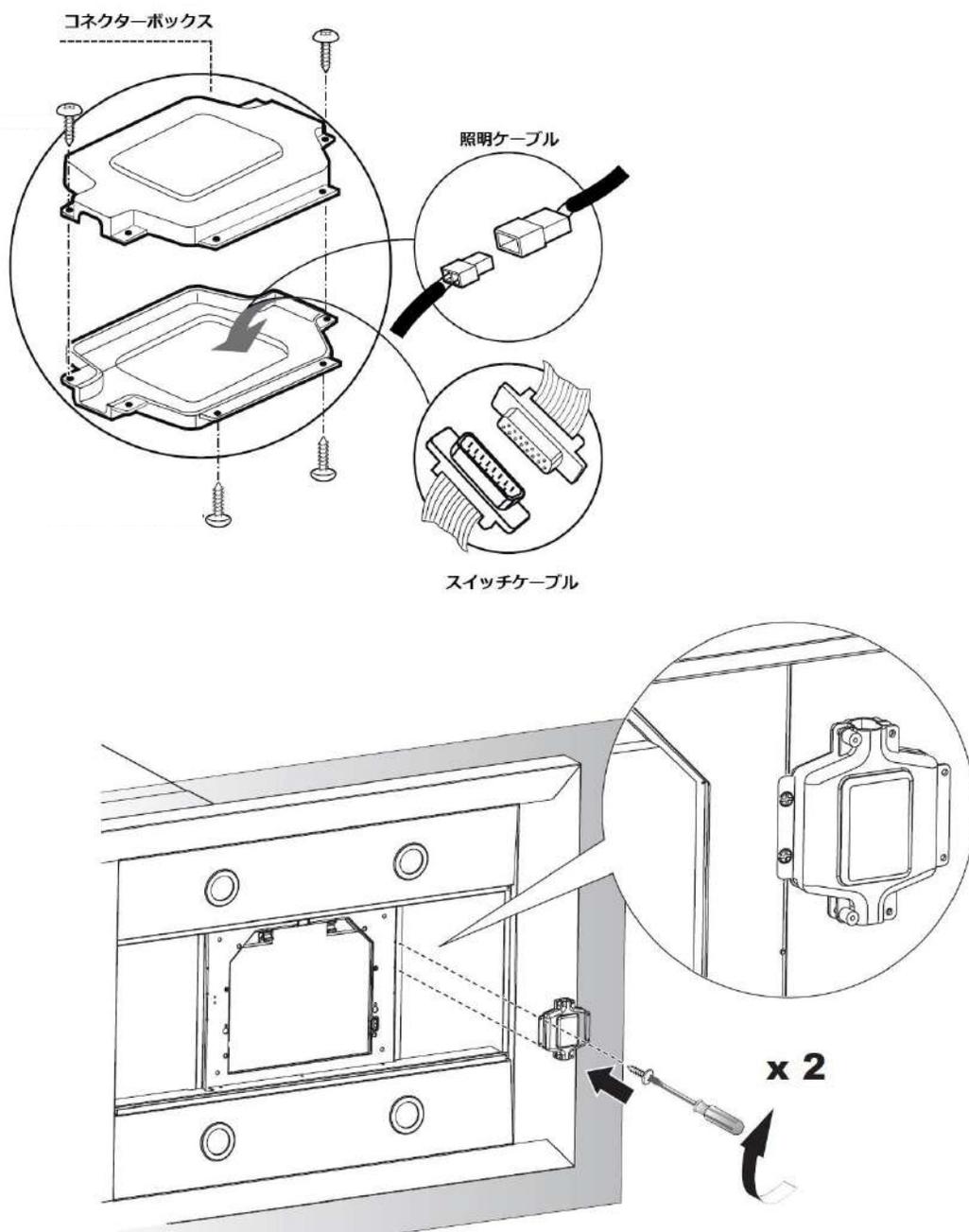
- フード本体からグリスフィルタを取り外し下図を参考にビスA x 4 をしっかりと締めこんでください。



施工手順

⑧照明とスイッチの結線

- 照明ケーブルとスイッチケーブルの端子を接続し、コネクターボックスへ収納し所定の場所へ取り付けてください。



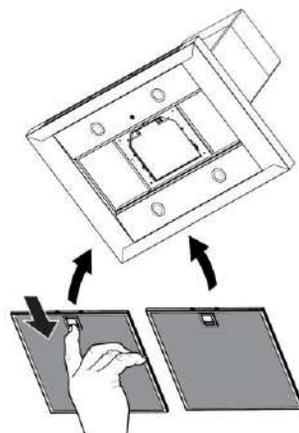
施工手順

⑨ グリスフィルタ取り付け

- 養生シールを取り外し、グリスフィルタを元の場所に収めてください。

⑩ 最終の動作確認と各所養生シールの取り外し

- 最終の動作確認を行い、異音などの不具合がないか確認してください。
- フード本体やチムニーなどに貼ってある養生シールをすべて剥がしてください。



以上で施工は完了です。お疲れ様でした。

ご不明点あれば下記までお問い合わせください。

ウエスタン大阪株式会社

06-6210-4611

<http://www.western-Osaka.com>